

2-1-1 教員の学位や業績

【次世代教育学部】

こども発達学科	名前(読み)	酒井 健太郎 (さかい けんたろう)
	職名	講師、国際・教養教育センター教養教育部門主幹(兼任)
	取得学位	博士(文学)
	専門分野 研究領域	哲学、倫理学
	担当授業	「教育の思想と原理」「ジェネリックスキルズ」「倫理学」「言葉の理解」他
	研究業績	<p>【著書】</p> <p>1. 酒井健太郎『アリストテレスの知識論——『分析論後書』の統一的解釈の試み』, 九州大学出版会, 2020. [単著]</p> <p>【翻訳】</p> <p>1. マッティ・ハユリュ『人間「改良」の倫理学——合理性と遺伝的難問』(斎藤仲道・脇崇晴監訳), ナカニシヤ出版, 2020. [共訳, 第4章「聾者の胚、道徳性、法律」を担当]</p> <p>【主な論文】</p> <p>1. 酒井健太郎「『アリストテレスの知識論』をもう一度読み直す——岩田氏、高橋氏、松浦氏、斎藤氏、飯田氏の批判に答えて」, 東洋大学国際哲学研究センター『国際哲学研究』11, 2022, pp. 43-55.</p> <p>2. 酒井健太郎「『アリストテレスの知識論』を読み直す——千葉氏と文氏の批判に答えて」, 東北大学倫理学研究会『モラリア』28, pp. 45-64.</p> <p>3. 酒井健太郎「「教養」とは何の謂いか——『プロタゴラス』におけるプラトンの教育哲学」, 西日本哲学会『西日本哲学年報』29, pp. 1-19.</p> <p>4. 酒井健太郎「アリストテレスの抽象理論の射程」, 池田真治編『抽象の理論をめぐる哲学史——古代から近代まで——』(「抽象と概念形成の哲学史」研究会・研究報告論集), 2021, pp. 1-29.</p> <p>5. 酒井健太郎「想起説は「メノンのパラドクス」への応答か——『メノン』におけるプラトンの教育思想」, 『環太平洋大学研究紀要』17, 2020, pp. 11-19.</p> <p>6. 酒井健太郎「論証と原因——アリストテレス『分析論後書』第2巻第11章を手がかりに」, 日本哲学会『哲学』70, 2019, pp. 205-219.</p> <p>7. Sakai, K. 'Knowledge by Acquaintance: A Note on Plato's Meno 71b3-6', 九州大学大学院人文科学研究院『哲学年報』78, 2019, pp. 1-6.</p> <p>8. 酒井健太郎「規範事例型の実践的推論について——アリストテレス『ニコマコス倫理学』の行為論」, 日本倫理学会『倫理学年報』68, 2019, pp. 97-111.</p> <p>9. 酒井健太郎「実践的真理の布置——アリストテレス『ニコマコス倫理学』における」, 九州大学哲学会『哲学論文集』54, 2018, pp. 19-37.</p>
	所属学会 学会活動	日本哲学会、日本倫理学会、日本西洋古典学会、教育哲学会、古代哲学会、西日本哲学会、九州大学哲学会、九州大学哲学会評議員(2020年9月～現在)
	社会貢献	<p>1. 教育格差を哲学する——メリトクラシーの根拠と妥当性をめぐって(吉備創生カレッジ, 2022年1月)</p> <p>2. 古代ギリシアの教育思想——「専門知」と「教養」に着目して(吉備創生カレッジ, 2020年8月)</p> <p>3. 国立教育政策研究所 チューニング情報拠点外部委員(2019年6月～現在)</p> <p>4. やっぱり知りたい! アリストテレス(GACCOH, 2019年9月)</p> <p>5. 西洋古典学を学ぶきっかけ(「西洋古典学への誘い」, 2018年7月)</p>